令和５年度　学校通信　№６　　令和６年１月１２日

守恒小だより

発行者　北九州市立守恒小学校
校長　新森　修二

３学期もよろしくお願いいたします。

１月９日（火）に体育館で３学期の始業式をしました。

ご存じのように１日に能登半島で大きな地震がありました。多くの方が亡くなったり、避難をしなければならなかったりしています。２日には飛行機の事故、３日には鳥町食堂街の火事と大きな出来事が続きました。今、多くの方が苦しみや悲しみを抱えていらっしゃることに胸が痛みます。

同時に平穏な日々が当たり前ではなく、いかに大切であるかということに気付かされます。一日一日を大切にそして丁寧に過ごしていきたいと感じています。

子ども達には、２学期の終業式で見せることができなかった動画を見てもらいました。ある学級の自習の様子です。担任の先生がお休みでしたので、私（校長）が、算数の時間の自習監督として教室に入りました。その学級では、子ども達が自分達で学習を進めることができます。指定されたページを開くと、グループになって、学習の計画を立てます。そしてめあてをノートに書き、自分なりに問題を解きます。その後グループの友達と学び合い（学び合い１）ます。時にはとなりのグループに出かけて行き、議論します。そして、分かったことやまとめをノートに書きます。最後には練習問題に取り組み、互いに教えあって（学び合い２）全員が分かるようになります。

担任の先生がいない状況で、自分たちで学習を進めているのが素晴らしいのですが、もっと素晴らしいのは、全員（誰一人取り残さない）という思いを子ども達がもっているということです。全ての子ども達が互いに対話し、励まし合い学ぶことができていました。正直、この姿に鳥肌が立ちました。

本校では、「仲間」「尊敬」「感謝」「貢献」の４つの言葉を大切にしています。そうすることで安心して過ごせる学級・学校になると考えています。この状態を「共同体感覚（心理的安全性）が得られた状態」と考えています。上記の子ども達の姿が、まさにこの考え方が具現化されたものだと感じました。このような心の育ちは、他の学級でも見られます。

子ども達には、３学期も引き続き仲間を大切にしながら、学び合ってもらいたいと思っています。

始業式の様子

子ども達の学び合いの様子

４年生で「持ち合い授業」を始めました。

本校では、５年生と６年生で教科担任制（正式には一部教科担任制）を行っています。この取組には様々なねらいがありますが、「中１ギャップ」の解消もその一つです。担当した教科の授業を全学級で行うため、学年すべての子ども達と関わることになります。教員には、「担当学年の先生方全員で子ども達を見ていく」という意識が高まります。

そこで、４年生でも３学期から「持ち合い授業」を始めることにしました。５・６年生とは教員の配置数が違うため、同じようにはできません。それでも担当の教科を決め、他の学級でも授業を行うことで、「みんなで子ども達を見ていく」という体制にしています。

子ども達からは、「他の先生の授業を受けることがあまりないので、とても楽しかったです。」「他の先生だからちょっと緊張したけど、優しい先生ばかりでよかったです。」などの感想が聞かれました。